清流劇場・ギリシア劇勉強会2023

SEIRYU THEATER
https://seiryu-theater.jp

アクロポリスの丘の麓から

ギリシア悲劇の周辺
—愛の万華鏡—



人間への眼差し、人間心理への飽くなき追求。

おおよそ2400年前の作品でありながら、色褪せることなく私たちを引きつけるギリシア劇。
時代の風雪に耐え、これまで残ってきた不朽の名作群を紐解きながら、《人間存在をどのようにとらえるか》・《いかにして自らが、より精神的豊かさを携えて、生きるか》をテーマに、ギリシア劇をもっと深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。
この勉強会も７年目を迎えました。今年はギリシア劇の他、もう少し時代を下って、古代ローマまで足を延ばしてみます。オンラインでの実施となりますので、関西以外にお住まいの方も参加しやすくなっています。初めての方でも入りやすい講座です。どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥

清流劇場・ギリシア劇勉強会2023

アクロポリスの丘の麓から

ギリシア悲劇の周辺 —愛の万華鏡—



レクチャーの概要（全12回　※1回のみの参加も受け付けております。）

第１回　４月　４日(火)　慕情
第２回　４月18日(火)　夫の帰宅
第３回　５月　９日(火)　泣くなお袋
第４回　５月23日(火)　親の心子知らず
第５回　６月13日(火)　たとえ火の中水の中
第６回　６月27日(火)　泣く男
第７回　７月11日(火)　逃げる男
第８回　７月25日(火)　リュシメレスということ
第９回　９月12日(火)　★古代ギリシアの食文化——１泊研修旅行
（この回は対面講座のみ実施。オンラインでの受講はできません。）
第10回　11月14日(火)　さながら罌粟の花が
第11回　11月28日(火)　地に潜る
第12回　12月12日(火)　とことん

しばらくギリシア悲劇の勉強を続けてきました。残存する33篇のうち、主要作品はほぼ読みました。今年は少し目先を変えて悲劇の作品論ではなく——それに近いものもありますが——「愛情」をテーマに、そのさまざまな現れ方を作品の中に見ていくことにしました。悲劇だけではありません。叙事詩、抒情詩、また小説の中に表現されている「愛」を読み取って行こうと思います。時代も少し広くなり、ローマ時代のものも、またそれ以後のものもあります。楽しみつつ勉強していきましょう。題目には作品名や対象人物の名前がありません。意図して省いています。どうぞ、諸兄妹、予想してみてください。

　捨て舟の艫にまつわる花筏（朱呑子）

丹下和彦

■講師：丹下 和彦（大阪市立大学名誉教授・古代ギリシア文学者）
■レクチャーの形態：オンライン講座（勉強会前日までに<Zoomのアドレス>をお送りします。）
■時間：19時～21時30分（途中休憩あり）
■料金：1回1,500円（税込み）
■対象：演劇経験不問（ギリシア劇を学びたい方ならどなたでも歓迎いたします。）
■お申し込み方法：

【クレジットカード/PayPayをご利用の場合】
PassMarketより「清流劇場」を検索し、ご購入ください。〈購入/申込完了〉の自動返信メールをお送りします。

第1回～第8回 のレクチャーをご希望の方
左記、QRコードよりご購入ください。

第9回～第12回 のレクチャーをご希望の方
左記、QRコードよりご購入ください。

【銀行振込の場合】
清流劇場ウェブサイト内の「ご予約フォーム」より必要事項をお知らせください。
〈振込先口座のご案内〉をメールにてお送りしますので、手続きをお願いします。
着金確認後、〈ご購入完了〉のメールをお送りします。

■申込締切日：各回実施の2日前
■お問い合わせ：清流劇場　e-mail：info@seiryu-theater.jp　phone：080-2487-1347
web：https://seiryu-theater.jp

■デッサン：政野裕果　**■企画・制作：一般社団法人清流劇場**